

紀州ニ生エタぐんばいひるがほ

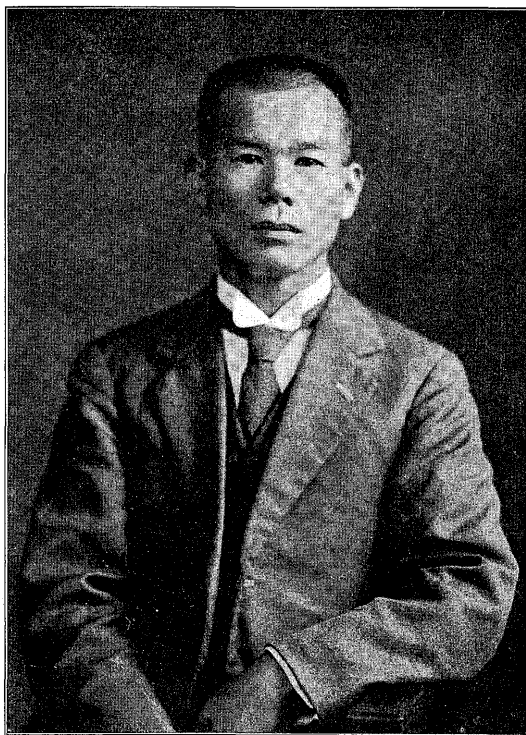
ステゴノハナ 筑前
デゴクバナ
テアキバナ 丹州笹山
ハミズハナミズ 加州
ヘソビ 勢州彌見 凶年ニハ團子トシ
マシジュサケ 熊野
ヤクベウバナ 越前
ユウレイバナ 上總
ワスレグサ 仙臺
セウゼウバナ 仙臺
テクサリグサ 播州
ハヌケグサ 豊後
フヂバカマ 播州三ヶ月
マンジュシヤケ 京
ホソビ 勢州
ヒガングサ 仙臺
ノダイマツ 能州
ヒガンバナ 肥前
ホドヅラ 豫州松山
スズカケ 土州
テクサリバナ 龍州
ヒガンバナ 肥前
フヂバカマ 播州三ヶ月
マンジュシヤケ 京
ステゴグサ 筑前
テンガイバナ 京
ドクスマラ 肥前
ヒガングサ 仙臺
ノダイマツ 能州
ヒガンバナ 肥前
ホドヅラ 豫州松山
ユウレイバナ 上總
ワスレグサ 仙臺
セウゼウバナ 仙臺
テクサリグサ 播州
ハヌケグサ 豊後
フヂバカマ 播州三ヶ月
マンジュシヤケ 京

能ク此時代ニ是レ丈ケノ澤山ナ方言ヲバ集メ得タモノダト感心スルガ然レバ蘭山先生ガドウシテ其レヲ集メ
タカト云フニ多分京都本草ヲ講述シタ時分ニ諸國カラ雲集シタ及門ノ弟子達ニ聽タモノガ多々デアッタト
想像セラル、此『本草綱目啓蒙』ト云フ書物ハ蘭山先生ノ蘊蓄ヲ傾倒シテ講述シタ筆記ヲ修補シテ出來タ
良書デ我邦ノ植物ヲ研究スル人士ノ座右ニ無クテハナラヌ文獻デアアル、從來出版セラレタモノニ四種類アッ
テ其始メノ二ツハ其題簽ハ共ニ單ニ『本草綱目啓蒙』デアアルガ是レハ二ツトモ著者ノ小野家デ發行シタモノ
デ其内容モ體裁モ兩方トモ全ク同一デアアル、第三ノモノハ『重修本草綱目啓蒙』デ是レハ木活字ヲ用キテ印
刷シ重修者ノ意見ガ書中ニ「増」トシテ散見シテキル特色ガアル、第四ハ『重訂本草綱目啓蒙』デ一番能ク
整フタ書デ又一番最後ニ世ニ出タモノデアアル、今日デハ此等ノ書ノ時價ガ騰貴シ購フニ誠ニ不便デアアルガ然
シ幸ニモ東京府北豊島郡長崎町一六二番地ノ日本古典全集刊行會デ此重訂ノ方ヲ全部縮刷シテ賣リ出シタノ
デ極メテ僅カノ價デ購求スル事が出來ルヤウニナリ研究者ハ非常ナ助カリデアアル

○紀州ニ生エタぐんばいひるがほ

和歌山縣新宮高等女學校

太田馬太郎



太田馬太郎君

(和歌山縣新宮高等女學校教諭)

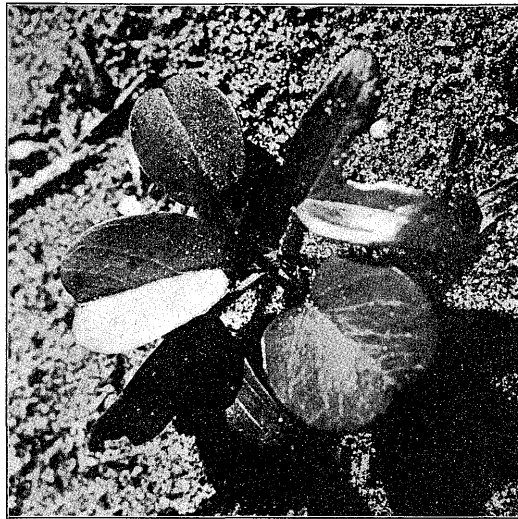
昭和五年七月十七日ニ紀州東牟婁郡宇久井村(新宮ノ南ニ當ル三輪崎町ト勝浦トノ中間グライニ位スル瀕海ノ地デアル)ノ海濱ニテ此ニ掲ゲル寫眞ノヤウナひるがほ科ノぐんばいひるがほ一名うちはかづらノ仔苗二株ヲ見付ケ早速之レヲ採集シ來テ我が校ノ溫室ニ擁護栽培シテオイタ

此ノ地ハぐんばいひるがほノ野生地トシテ去ル昭和二年ノ夏ニモ丈ケ七八寸グライノモノヲ採集シタコトガアツテソレヲ培養シテ居ッタガ不幸ニシテソノ冬寒氣ノ爲メ傷メラレ枯死シテシマッタ、其節ニ其自生地ニ殘シテ放任シ

テオイタモノハ其後多分枯死シタモノデアラウ其行衛ガ不明トナッタ、本年ノ夏更ニ本縣ノ串本町西海岸ニ於テ十數本其ノ處ニ生ジテ居ルノヲ見出シタ、本品ガ尙紀州ノ日高郡ニモ自生シテ居タ話ヲ御坊町ナル和歌山縣立日高高等女學校ノ芝口常楠氏カラ承ハリ且其標本モ頂戴シタコトガアツタ、玆ニ本誌ノ餘白ヲ借り之ヲ同好ノ御方ニ報告スル事ニシタ

【牧野曰フ】此ぐんばいひるがほノぐんばいハ軍配デ其葉形ガ戰時ニ用ウル軍配扇ニ似テ居ルト云フ見立デ付

紀州ニ生エタぐんばいひるがほ

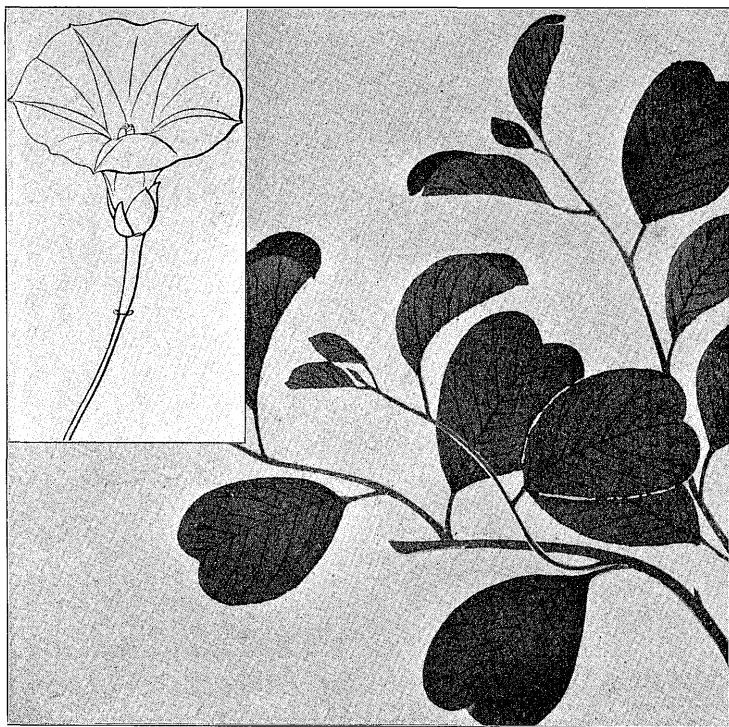


ぐんばいひるがほ (*Ipomoea pes-caprae* SWEET.)ノ仔苗

(昭和五年七月十七日紀州東牟婁郡宇久井村
海濱ニテ太田馬太郎撮影)

至レバ此品ハ海濱地ニ普通ナ者デ少シモ珍シクナイ雜草ノ一トナツテ居ル、元來本種ハ東西兩半球ノ熱帶地ニ盛シニ繁殖セル強壯ナ宿根草デ往々遠ク離レタ大洋中ノ島ニモ能ク生ジテ居リ尙ホ其レガ亞熱帶地ニ迄モ波及シテ分布シテ居ル、學名ハ最初リンネ氏ニヨotte *Convolvulus pes-caprae* L. ト名ケテ公ニセラレタモノガ今日デハ *Ipomoea pes-caprae* SWEET. ガ其正名トシテ使用セラレテ居リ又其異名ニハ *Convolvulus bilobatus* ROXB.; *C. maritimus* LAMK.; *Ipomoea biloba* FORSK.; *I. maritima* R. Br.; *Batatas maritima*

ケタ名デアツテ此名ハ岩崎灌園ノ著『本草圖譜』ニ出テ居リ同書ニハ圖ニ伴フテ「豆州大島にあり莖淡紅色にして甘諸イモ」の如ク土中に引生ず葉の先凹にして軍扇の如く厚し」ノ文ガアル、然シ右ノ大島ニハ普通ニハ見ナイカラ其當時此島ノモノモ或ハ一時在ッタモノカモ知レナイ、私ハ明治十八年十月二十二日ニ土佐幡多郡佐賀ノ南方ナル灘ト云フ處ノ海濱砂場デ一株此苗ノ自然ニ生エテ居ルノヲ見當時始メテ此未見ノ植物ニ出會ッタデ咄嗟ニさつまいもノ一種ト思ッタ事ガ其時ノ我が手帳ニ記シテアル、此土佐ノモノモ紀州ノ其レト同ジャウニ遠ク西南カラ來リツ、アル謂ユル黒潮潮流ガ南方カラ其種子ヲ運ビ來ツテ此ノヤウニ不時ニチヨイノ生エタモノト見エル、九州ノ南部ニハ盛シニ繁茂シテ居ル海岸ガアル其レヨリ南シテ琉球、臺灣ニ

ぐんばいひるがほ (*Ipomoea Pes-Caprae* SWEET.)

莖葉ノ圖ハ『本草圖譜』卷ノ廿三蔓草部カラノモノ、花ノ圖ハ明治廿九年十一月ニ小生(牧野富太郎)ガ臺灣ニテスケッチシテ來タモノ (共ニ縮圖)

Boer. ガアル、ソシテ其種名ノ *Pes-Caprae* ハ山羊ノ脚ト云フ意、*biloba* 並ニ *bilobatus* ハ二淺裂ノ意、*maritima* 又ハ *maritimus* ハ海濱ニ生ズル意デアル、本品ハ其葉ガ厚クテ光澤ガアツテ且葉頭ガ兩裂シテ居リ其狀ガ宛カモ團扇狀ヲ成シテ他ノ普通ノ草トハ其趣キヲ異ニシ一種ノ特狀ヲ呈シテ居ルノデ頗ル吾人ノ注意ヲ惹カズニハ居ラナイ、莖ハ長ク匍匐シテ縱マ、ニ縱横ニ擴ガリ根ハ非常ニ丈夫デ長キモノハ一丈ニモ達シ徑凡ソ一寸半ニモ超ユルモノガアルトノコトデアル、花ハ腋生セル一花梗上ニ一乃至三輪ヲ開キ花冠ハ紫赤色ノ漏斗狀ヲ呈シテ花徑凡ソ一寸五分許ヲ算シ能クさつまいもノ花ニ似テ居ル、花後圓キ蒴果ヲ結ビ果内ニ室ニ分レ毛アル種子ヲ容レテ居ル



伊豫石槌山植物實地指導講習會々員ノ一行
(昭和六年八月十六日岩屋山岩屋寺々前ニテ撮影)

我邦ノ海濱ニハ南ヨリスル潮流ノ爲メニ種々南方ノ植物ノ種子ガ漂着シ其處デ芽ダツテ生エルモノガアル、其内ニ一時生エハシタガ氣候ノ寒キ等ノ爲メニ其後間モナク枯死ニ就クモノモアルガ又幸ニ其後其風土ニ馴レテ永ク土着シ其處ノ植物トナツテ年々ニ榮枯ヲ繰リ返シテ居ルモノモアル、私ハ以前わにぐちもだまガ我が郷國ノ土佐ノ海濱デ芽ダツテ居ッタノヲ探タ事ガアッタ、又すなわちまめ並ニたいきんぎくハ土佐ノ海濱デハ最早ヤ其地ノ土産ノ如キ植物ト成リ了ツテ居ル、日本國中ノ海濱ヲ遍ク歴訪シテ此様ナ植物ヲ觀察シテ見タラ隨分面白イ事デアルト思フト同時ニ吾人ガ尙ホ豫想セザル興味アル研究題目ニ逢シハセンカトモ考フルノデアアル

○牧野先生ヲ伊豫ニ迎ヘテ